

# 令和7年第424回信濃町議会定例会9月会議 会議録（4日目）

(令和7年9月11日 午前9時45分)

●議長（酒井 聰） おはようございます。お疲れ様です。

ただ今の出席議員は12名全員であります。定足数に達しておりますので、本日の会議を開きます。なお、荒井代表監査委員、小林農業委員会長から欠席届が提出されております。本日の議事日程は、お手元に配布のとおりであります。日程第1、通告による一般質問を行います。

通告の6、片野良之議員。

1、町が行っているカーボンニュートラルの取組について

議席番号5番、片野良之議員。

◆5番（片野良之） 議席番号5番、片野でございます。通告にならい質問を行います。今回は一つしかありませんので時間的にはかなり短くなってしまうと思われますが、中身のあるものにしていきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。まず、私が議員になった頃始まっていた、第3次信濃町地球温暖化防止実行計画。そして今、令和5年から行われている第4次、これらを通じてカーボンニュートラルへの取組が継続されおりますが、数値的な成果について、今回は伺いたいと思います。まず、この第3次、第4次計画が進んでいる中で、公用車の更新。これも目玉になっていたと思うのですが、これで得られた改善された数値、以前との平均値での違いをお聞きしたいと思います。ただ、コロナ禍がありましたので単純に活動量、事業量が比較できるものではないので、概算での数値で構いませんので、その辺をお答えいただければと思います。

●議長（酒井 聰） 鈴木町長。

■町長（鈴木文雄） おはようございます。ただいま頂きました片野議員からの質問にお答えいたします。本年3月に策定いたしました信濃町第3次環境基本計画では、将来の目指すべき姿といたしまして、パートナーシップで築く一人一人の幸せ、誇れる環境ということを掲げまして、地球温暖化への対応だけでなく、豊かな自然環境や生物多様性を将来にわたって適切に維持・保全していくことを大きな目標に掲げております。また、この計画では、地球温暖化防止実行計画も一体的に組み込んでおりまして、ゼロカーボンへの取り組みの強化、そしてまた削減目標の設定など、環境施策を総合的かつ効率的に推進することとしたところでございます。現時点の状況、また数値的な成果などにつきましては、担当の住民福祉課長から答弁をさせていただきます。

●議長（酒井 聰） 柄澤総務課長。

## 令和7年第424回信濃町議会定例会9月会議 会議録（4日目）

■総務課長（柄澤 豊） 今ほどの片野議員さんの質問、公用車の関係の改善を得られた数値ということでございましたので、私、総務課の方でお答えをさせていただきたいと思います。総務課所管で使用する公用車8台を管理しているんですけども、そのうち軽トラックと交流バスを除く6台については、低公害車両やハイブリッドを導入しております。公用車の更新に当たっては、環境に配慮した車種選定を予算の範囲内で実施しているところでございます。この後ちょっと若干数値申し上げますが、乗用車タイプについては、ハイブリッドとかそういうものがあるんですけども、各課でよく現場やそういうところに使っている車というのは軽自動車が多くて、軽自動車の方はなかなかそのハイブリッドというのは普及しておりませんので、なかなか大きく改善するということが難しいんですけども、そんな中で、公用車の入れ替えによる燃料使用量の推移について若干申し上げますと、役場全体のガソリン使用量というのは、住民福祉課の環境係の方で取りまとめておりまして、その結果を見ますと、平成26年からコロナ禍前の平成30年度までの5年間の平均使用量は、2万5358リットルでありました。令和6年度には2万2610リットルと約2700リットル削減になっているということでございます。この使用量の削減要因とすれば、今ほどの低公害車両、ハイブリッドとか排ガス規制の車両に入替えの効果によるものと、それでコロナ禍でWeb会議というのが普及しまして、現地集合型の研修が減少したというのもありますし、それで公用車を使用する頻度が少し少なくなったというようなこともあります。そんな中で、ちょっと算出をしてみたんですが、削減されたガソリンによるCO<sub>2</sub>排出量ですが、今ほどの2700リットルの削減量に対して、リッターあたりのCO<sub>2</sub>の含まれている2.322という、単位あたりの数字をかけますと、6.27トンほど削減になったかなというふうに試算をしたところでございます。以上でございます。

●議長（酒井 聰） 片野議員。

◆5番（片野良之） 詳しい回答ありがとうございます。今の質問は公用車に関する部分だったんですが、次に電力会社も変更されています。この部分で改善された数値。これもお聞きしたいと思いますが、よろしくお願ひいたします。

●議長（酒井 聰） 柄澤総務課長。

■総務課長（柄澤 豊） こちらも総務課の方で答弁をさせていただきたいと思います。電力会社の変更については、主に目的がいわゆる数値の改善、環境に配慮した数値の改善というよりも、単価改善。単価の改善が目的でありますし、電力会社を変えたからといって、いわゆる数値が削減されたとかいうことではないということはご理解を頂きたいと思うのですが、どうしてもそういうふうになりますと、施設を新しくするとか、設備をいわゆる低公害型のものにするとか、そういうことによって削減されるということです。これについても、ガソリン使用量と同様に電気使用量につきましては環境係が数値を取りまとめておりますので、その結果について申し上げると、平成26年

## 令和7年第424回信濃町議会定例会9月会議 会議録（4日目）

度から今と同じ平成30年度までの5年間の平均使用量というのが、ちょっと単位、これなかなか難しいんですが、317万7257キロワットアワーでありまして、令和6年度には324万とんで396キロワットアワーですから、若干増えているといいますか、ほぼ変わっていないという状況でございます。この6月会議でもご承認いただきました「グリーントランスフォーメーション(GX)」を推進するために、地域活性化起業人が10月から来ていただくんですが、まず庁舎内の電力使用量の削減も検討していただきなり、町全体の脱炭素化に向けた取り組みを進めたいというふうに考えておりますので、よろしくお願いしたいと思います。

●議長（酒井 聰） 片野議員。

◆5番（片野良之） ありがとうございます。ちょっと私の方でも勘違いしていた質問だったかと、今恥ずかしく思っております。それで、昨年の6月にもこのゼロカーボン、カーボンニュートラルの件で質問した際に、町民や民間への協力要請も必要ではないかということを提案させていただいています。その後、いろいろ動かれているとは思うんですが、その辺が今どういうふうに進んでいるのか、その辺をお答えいただければと思います。

●議長（酒井 聰） 梶澤住民福祉課長。

■住民福祉課長（梶澤恵美） 前段で、片野議員の方からまず地球温暖化防止のことも聞かれておりますので、そちらの方から先にお答えさせていただきたいと思います。地球温暖化防止実行計画につきましては、市町村に策定が義務付けられている温室効果ガスの排出量削減のための措置に関する計画であります、第4次として、令和5年度から令和9年度の5年間の温室効果ガスの削減に向けて取り組んでおり、町の施設40箇所で使用する電気や燃料の排出量を毎年度算定し、その推移を把握しながら取組の効果を確認しているところでございます。令和6年度につきましては、これからということでありますて、直近の令和5年度の総排出量につきましては、222万7532キログラムCO<sub>2</sub>ということで、要因別の排出状況の割合ですが、電気の使用で66パーセント、次いで灯油の使用16パーセント、ガソリン軽油の使用5パーセントとなりまして、全体の87パーセントを占めているというような状況です。前年の令和4年度と比較しますと、1.7パーセントの削減でございます。コロナ禍の事業縮小などの影響もございますが、コロナ前の平成30年度と比較しまして、約5.4パーセント削減となっております。近年の猛暑や、そして大雪による影響もあり、単純な比較というのは難しい面もございますが、コロナ前と比べますと、総排出量は減少傾向にあります。これは省エネルギー化や節電に対する意識の高まりによる成果であると考えております。それと昨年の6月の質問で、町民への協力を要請することが必要ではないか、というその後の具体的なことのご質問でございますけれども、町における地球温暖化防止計画の取り組みにつきまして、昨年ご指摘いただいたとおり、町民の皆様のご協力が必要であると改めて再認識しております。

## 令和7年第424回信濃町議会定例会9月会議 会議録（4日目）

ご質問の具体的に行われたことについてですけれども、町では昨年度、信濃町第3次環境基本計画を策定し、本年度から新たにスタートを切ったところでございます。この計画は、これまでの事務事業編に加え、町全体での取り組みを示す、区域施策編を組み込みまして、行政だけでなく住民の皆様や事業者の皆様と一緒に進めていくことを前提に策定したものでございますので、より幅広く、そして力強く温暖化対策を進めていく枠組みが整ったと考えております。まずは周知をしていくということに注力しているところでございます。以上です。

●議長（酒井 聰） 片野議員。

◆5番（片野良之） ありがとうございます。民間への事業者や住民への協力要請という部分で、何か新しく今作っていらっしゃるような途中の話をちょっと聞いていたんですが、その辺は今どうでしょうか。

●議長（酒井 聰） 梶澤住民福祉課長。

■住民福祉課長（梶澤恵美） 環境基本計画の策定に関わっていただいた策定委員さんを中心に一度話し合いの場を持ちまして、そして今後、町で構築できそうな内容を更に深めていく、検討していくというような意見になりましたので、これからまた対応していくことがあります。以上です。

●議長（酒井 聰） 片野議員。

◆5番（片野良之） ありがとうございます。是非、実のあるものになるように進めていただければと思います。それで、今この第4次信濃町地球温暖化防止実行計画が進んでいる中で、今後新たに課題として出てきそうなものなどは、今どのように把握されているのかをお伺いしたいと思います。

●議長（酒井 聰） 梶澤住民福祉課長。

■住民福祉課長（梶澤恵美） 今後の課題ということでございますけれども、まず、この計画の推進に当たりましては、私どもの課だけではなく、各課を横断した対応が必要になるところでございます。各担当係の事業計画に具体的に数値目標を設定していく。そして日々の業務に取り組んでいくことで、全ての職員が自分の役割として意識できるような体制をしていくことが必要と考えております。こうした仕組みづくりにより組織全体の意識を高め、実効性のある削減につなげていきたいというふうに思っているところですが、現時点での課題としまして、先ほども申し上げましたとおり、コロナ禍により事業縮小の影響もあって、排出量の減少を単純に評価することが難しいという面があるわけですから、その経験を踏まえて、これからは再生可能エネルギーの導入

## 令和7年第424回信濃町議会定例会9月会議 会議録（4日目）

---

や省エネ機器の普及、さらには地域との協働を一層広げることで安定的に削減を続けていけると考えております。今後も第3次環境基本計画を確実に進めることで、町としてカーボンニュートラルの実現を着実に推進してまいりたいと思っております。以上です。

●議長（酒井 聰） 片野議員。

◆5番（片野良之） ありがとうございます。是非とも、地域との協働でさらなる他人事ではなく、自分たちが主人公であり、自分たちがこの問題に取り組んでいかなくてはいけないという思いを住民の方々、そして企業、事業者の皆さんにも理解していただいて、進めていけるようにご努力いただくように要望いたします。あと、質問ではないんですが、ホームページから資料を取ったりするんですが、ちょっと古いものが出てこないという部分があるので、もうちょっと古い資料なんかも取り出せれば有り難いなと思いますので、その辺ご配慮いただければと思います。短いんですが、私の一般質問はこれで終了といたします。

●議長（酒井 聰） 以上で、片野良之議員の一般質問を終わります。  
この際、10時20分まで休憩といたします。

（終了 午前10時4分）